

関東信越厚生局 令和6年度第1回地域包括ケア事例研究会

(生活支援体制整備事業に係る事例研究会)

日時:令和6年10月25日(金)

会場:さいたま新都心合同庁舎1号館5階 共用会議室5-1

参加人数:83名

(県職員・県社協職員7名、市区町村職員27名、生活支援コーディネーター49名)

今回は令和6年度地域支援事業実施要綱改正の一つである「生活支援コーディネーターによる地域住民と地域の多様な主体との連携と推進について」をテーマとし開催しました。

今後も、自治体の皆様の地域づくりが一層前進するような企画を立てていきたいと考えておりますので、開催の際はご参加いただきますようお願いいたします。



～アンケート結果～

1. アンケート回答者(73名 回答率87%)

2. 感想や意見について

【行政説明】

- 新設された事業の意図が伺えてよかった。
- 官民連携推進事業について、要綱をもとに説明していただき分かりやすかった。

【事例発表】

- 事例発表をされたすべての市の取組が素晴らしかった。
- 多くの取組を聞くことができ、自分自身のモチベーションアップになりました。
- 今後の取組参考になりました。
- 事例発表では資金面も含めたお話で、とても参考になりました。

【グループワーク】

- 情報交換では、参加された行政の方や生活支援コーディネーターの方がとても楽しそうに自分の自治体での取組を話されていて、元気をいただいた気がしました。
- 生活支援体制整備事業に関わる皆様が、イキイキと取組みたいことについて話をしている姿がとてもよかったです。
- 他市区町村も同じ悩みを抱えていることが分かった。
- これからも様々な地域資源の活用などの事例を知りたいです。
- 都県を超えてお話が伺え、地域の特徴の共通点も見え参考になりました。自分が感じている課題について他自治体からも話を聞くことができ参考になりました。